

ペットの飼い主さんへ ～災害に備えましょう～

横浜市のような都市部ではペットを飼育する人が多くいます。災害発生時には地域防災拠点等にペットと一緒に避難する人も相当数にのぼることが想定されます。突然起こる災害に備えて、大切なペットのために日頃から対策を考えておきましょう。

① 飼い主さんの明示をしましょう

迷子札だよ！



- ・災害時にはペットと離ればなれになってしまうこともあります。迷子になった動物を探すためには識別情報が重要です。大切なペットのために、犬には必ず鑑札や狂犬病予防注射済票をつけましょう。また、迷子札やマイクロチップの装着など、飼い主の明示をしましょう。

★マイクロチップとは…

マイクロチップは、中に15桁の数字が記録された長さ12mm程度の電子標識器具であり、注射針を使って皮下に埋め込みます。迷子や地震などの災害によって、飼い主と離ればなれになっても、マイクロチップの番号をリーダー（読取器）で読み取り、データベースに照会することで、飼い主の情報を確認することができます。

外からは見えませんが、外れることはないため、動物の安全で確実な身元証明の方法として、世界中で広く使われています（鑑札や迷子札と併用してください）。



犬鑑札



注射済票
※年度ごとに色が変わります



② しつけをしておきましょう

- ・避難所にはたくさんの避難者が集まりますので、基本的なしつけをしておくことが大切です。自宅から避難するときや、避難所での生活に備え、キャリーバッグやケージに入ることに慣らしておくことも必要です。

ここが一番安心♪

特に

- * 犬は「待て」「座れ」「無駄吠えをさせない」などのしつけ
- * 猫は「人とのふれあい」に慣らしておく

などのしつけが役立ちます。



③健康管理をしましょう

よろしくお願いします！

- ・ワクチン、狂犬病予防接種、ダニ・ノミの駆除などを日頃から実施しておきましょう。



④動物用の避難用具を用意しましょう

- ・救援物資はすぐには届かない場合もあります。最低でも5日分は準備しましょう。



ペット用持出袋の例

- ・ フード・水・薬 : 最低でも5日分(できれば7日以上)は必要です
- ・ ペット用品 : ペットシート、新聞紙、リード等
- ・ 常備薬 : 持病がある場合には必要です
- ・ 飼育手帳 : 飼い主の連絡先、ペットの写真、健康状態、ワクチン接種状況等

- ・この他に、**キャリーバッグ**や**ペットケージ**を用意しましょう。

お世話になります・・・

⑤預け先を確保しておきましょう

- ・いざという時のために、親戚、友人等ペットの預け先を探しておきましょう。特に、は虫類など管理や受入れが難しい動物は、預けられる先が必要です。



☆横浜市では、災害時の対応をガイドライン「災害時のペット対策」にまとめています。

飼い主が平常時からできる対策についてもご紹介しています。

横浜市 ペット 災害↓

検索

